

会計基準Digest

会計基準を巡る動向 2014年7月号

会計基準 Digest は、日本基準、修正国際基準、IFRS 及び米国基準の主な動向についての概要を記載したものです。



1. 日本基準

■ 会計基準等の公表(企業会計基準委員会(ASBJ))

【最終基準】

該当なし

【公開草案】

該当なし

日本基準についての詳細な情報、過去情報は
[あずさ監査法人のウェブサイト\(日本基準\)](#)へ

- [企業会計基準委員会による修正会計基準公開草案第1号「のれんの会計処理\(案\)」](#):
IFRS上、償却が認められていないのれんについて、償却を求めることが提案されている。
- [企業会計基準委員会による修正会計基準公開草案第2号「その他の包括利益の会計処理\(案\)」](#):
IFRS上、その他の包括利益に認識された項目のうちリサイクリング処理が認められていないものについて、一部を除きリサイクリング処理を求めることが提案されている。



本公開草案に対するコメントの締切は2014年10月31日である。

2. 修正国際基準

■ 会計基準等の公表(企業会計基準委員会(ASBJ))

【公開草案】

「修正国際基準(国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準)(案)」の公表

ASBJは2014年7月31日、「修正国際基準(国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準)」(以下、「修正国際基準」)に関する公開草案を[公表](#)した。英文名称は、「Japan's Modified International Standards (JMIS): Accounting Standards Comprising IFRSs and the ASBJ Modifications」とすることが提案されている。

修正国際基準は、以下から構成される。

- [修正国際基準の適用](#)
- ASBJが採択したIASBにより公表された会計基準及び解釈指針
- 企業会計基準委員会による修正会計基準: 次の2つの公開草案が公表された。

【あずさ監査法人の関連資料】

- [修正国際基準ニュースフラッシュ](#) (日本語)
- 近日中に修正国際基準に関する解説動画を公表する予定です。

修正国際基準についての詳細な情報、過去情報は
[あずさ監査法人のウェブサイト\(修正国際基準\)](#)へ

3. IFRS

■ 会計基準等の公表 (IASB、IFRS解釈指針委員会)

【最終基準】

IFRS第9号「金融商品」の公表(2014年7月24日 IASB)

IASBは最終のIFRS第9号「金融商品」を[公表](#)した。本基準書は、現行のIFRS第9号「金融商品」(2009年、2010年及び2013年にそれぞれ公表済)における金融商品の分類及び測定に関する規定の一部を改訂し、また、金融資産の減損に関する新たな規定を導入している。最終版IFRS第9号の概要は次のとおりである。

● 分類及び測定

- 金融資産は、原則として、償却原価、FVOCI区分、またはFVTPL区分のいずれかに分類される。
- 金融資産の分類は、キャッシュフロー要件と事業モデル要件に基づいて行われる。
- 金融負債は原則として償却原価区分に分類される。FVTPL区分に指定した金融負債について、発行者自身の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動は、その他の包括利益に認識される。

● 減損に関する新たな規定

- IAS第39号における発生損失モデルにかえて、予想信用損失モデルが採用された。
- 予想信用損失モデルにおいては、金融資産の信用の質の変化に応じて、異なる測定方法に基づいて予想信用損失に係る引当金が測定される。



最終版のIFRS第9号は、2018年1月1日以降に開始する会計年度から適用される。早期適用も認められる。改訂前のIFRS第9号（2009年、2010年及び2013年にそれぞれ公表済）の早期適用は、改訂前の基準書の適用開始日が2015年2月1日より前である場合に限り認められ、2015年2月1日以降は、最終版のIFRS第9号のみが早期適用可能となる。

【あずさ監査法人の関連資料】

- [IFRSニュースフラッシュ](#)（日本語）
- [IFRS IN THE HEADLINES 第2014/13号](#)（英語）
- 近日中にIFRS第9号に関するについての解説動画を公表する予定です。

IFRSについての詳細な情報、過去情報は
[あずさ監査法人のウェブサイト\(IFRS\)へ](#)

4. 米国基準

■ 会計基準等の公表（米国財務会計基準審議会（FASB））

【最終基準（会計基準更新書（Accounting Standards Update：ASU））】

該当なし

【公開草案（会計基準更新書案（ASU案））】

2つのASU案「棚卸資産の測定の簡素化」及び「異常損益項目の概念の削除による損益計算書の表示の簡素化」の公表（2014年7月15日） FASB）

FASBは、U.S. GAAPにおける「簡素化の取組み（Simplification Initiative）」の一環として、以下の2つのASU案を公表した。

● 棚卸資産の測定に関するASU案：

棚卸資産を評価する際の低価法の適用に際し、取得原価と正味実現可能価額のいずれか低い方で測定することを企業に要求することを提案している。これにより、現行のU.S. GAAPにおける、再調達原価及び正味実現可能価額からおおよその正常利益を差し引いた額を考慮する必要がなくなることになる。

● 損益計算書の表示に関するASU案：

U.S. GAAPから、異常損益項目の概念を削除することを提案している。これにより、特定の事象や取引について、異常損益に該当するか否かの評価を実施する必要がなくなることになる。

「簡素化の取組み」は、財務諸表利用者に提供する情報の有用性を維持または改善すると同時に、U.S. GAAPにおいて、コストや複雑性が軽減可能な分野を特定、評価し、改善することを目的としている。



コメントの締切は、いずれのASU案も2014年9月30日である。

【あずさ監査法人の関連資料】

- [Defining Issues 14-32](#)（英語）

米国基準についての詳細な情報、過去情報は
[あずさ監査法人のウェブサイト\(米国基準\)へ](#)



ウェブサイト

- [アプリ紹介](#)
- [あずさ監査法人トップページ](#)

■ iPhone向け会計情報アプリを公開！

あずさ監査法人は、iPhone向けの会計情報アプリ「KPMG会計・監査AtoZ」を公開しました。このアプリで、いつでも・どこでも、あずさ監査法人が提供する日本基準、修正国際基準、IFRSそして米国基準に関する会計情報をiPhoneで閲覧できるほか、動画による解説コンテンツを視聴することができます。なお、Android向けアプリについては、2014年8月末に公表予定です。

■ 会計・監査情報ページをリニューアル！

「KPMG会計・監査AtoZ」アプリの公開とあわせて、KPMGジャパンのウェブサイト内の会計・監査情報ページをリニューアルしました。日本基準、修正国際基準、IFRSそして米国基準に関する会計情報を積極的に提供してまいりますので、是非ご活用ください。

編集・発行

有限責任 あずさ監査法人
IFRSアドバイザー室

azsa-accounting@jp.kpmg.com

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供しよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2014 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved.

The KPMG name, logo and "cutting through complexity" are registered trademarks or trademarks of KPMG International.

各基準についてのより詳細な情報、過去情報は、あずさ監査法人のウェブサイトをご確認ください。

- [あずさ監査法人トップページ](#)
- [日本基準](#)
- [修正国際基準](#)
- [IFRS](#)
- [米国基準](#)